

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	中山間地域等直接支払事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	3	16	1	37,843
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	関連計画 条例等					
		事業期間	17	年度～	21	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	対象集落内住民	対象地域世帯数(戸数)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了した年度とする	
			7164	7150			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	・集落営農をしてもらう ・保全及び活性化事業を行ってもらう	協定参加世帯数(実数)(戸数)	18目標	950	最終目標	950	21
			18実績	844	19目標	950	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
	農業生産活動等の体制整備を取り組む事業を取り入れた協定(通常単価)数(事業数)	18目標	12	最終目標	14	21	
		18実績	10	19目標	13	↑	
23目標			23実績		最終目標達成年度		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	中山間地域において、集落営農体制づくりを行うとともに、多面的機能(国土保全、水源かん養、自然環境保全、景観形成、文化の伝承、保健・保養、地域社会の維持・活性化、食料確保)を維持する観点から、集落協定に参画し農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払いを行う。交付金支払単価は、協定における協同取組活動によって、3段階に分かれ、交付金の半分以上を協同活動にあてる。事業により農業が継続できる体制づくりを、17から21年度の5年間を事業期間として実施する。 <事業要件に基づく対象農用地> 旧飯田・下久堅・上久堅・千代・龍江・三穂・上村・南信濃地区の急傾斜(田:1/20以上、畑等:15度以上)、緩傾斜(田:1/100以上、畑8度以上)	・集落協定を締結し、農業生産活動を行った農業者に対して交付金を支出した。 ・対象農用地の拡大に向けての推進を行った。 ・農地を保全していくための体制づくりや、農業を通じた地域づくり活動を推進するための支援を行った。	集落協定参加者数(人)	844
	18年度の実績			
	19年度計画	・集落協定に参画し農業生産活動を行う農業者に対して交付金を支出する ・各集落に合った集落協定の締結や新たな地域活動ができるよう説明会や発表会などを開催する ・農地を保全していくための体制づくりや農業を通じた地域づくり活動の推進方策を盛り込んだ集落協定の締結と、協定に基づく活動を支援する	集落協定参加者数(人)	950

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定国庫支出金	16,722	16,814
	特定県支出金	10,067	10,459
	起債		
	その他		
	一般財源	10,068	10,570
	事業費計(A)	36,857	37,843
人件費	正規職員所要時間	18年度 800	19年度 800
	臨時職員等所要時間	400	400
	人件費計(B)	3,291	3,291
	トータルコストA+B	40,148	41,134

特定財源内訳や補足事項	中山間地域等直接支払交付金 中山間地域等直接支払推進事業交付金
-------------	------------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	119.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・国が食料・農業・農村基本問題調査会答申(H10)を基に全国の対象農地に対し、当事業の実施を決定し平成12年度より開始された。</p> <p>・中山間地域等においては、農業生産条件不利地域であることに加え、高齢化、過疎化が進み、農地管理ができずに荒廃農地が増える等で、多面的機能が低下してきたことが施策の契機。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>全国的にも中山間地域が有する多面的機能の重要性が認知されはじめ、当事業に対する認識と必要性、継続性への要求が高まっている。一方、地域では農業者の高齢化と減少、耕作できなくなった農地の発生がいぜん進んでいる。12～16年度を事業期間とする1期対策が終了し、現在は21年度までの2期対策が継続実施されている。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>集落アンケートでは、農地関係者や集落のまとまりが良くなった。農地、周辺農地の管理状態が良くなったとの回答が多い。しかし、集落での事務処理の簡素化の希望や、代表者に負担が多く事業の取りまとめ役がいけないとの意見も多い。</p>
--	--	--

**【See】18年度の振り返り**

<p><b>目的妥当性評価</b></p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>農村の環境を守る事業や元気になる事業の促進は、中山間地域に暮らす人々の農業、農村生活の維持に結びつく。</p>	<p><b>有効性評価</b></p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>事業実施面積の拡大と共に、交付金を活用した積極的な農業生産活動が継続できる体制づくりにつなげていく余地がある。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由)</p> <p>事業の対象地域として、3つの法律による指定された地域(飯田、千代、上久堅、下久堅)と、その他の特認地域として三穂、龍江を実施しているが、さらに充実した取り組みが必要である。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>中山間地域等で荒廃農地や離農者が増加すると共に、水路管理が困難になるなど営農環境の悪化、集落機能(集まり、交流、伝統行事)の低下、過疎化が加速される。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>事業のきまり(要綱)で意図が定められている。</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>事業は、交付金の一部を市が負担するよう義務づけられている。中山間地域等における農地の多面的機能の維持、増進は公共の福祉の増大につながる。</p>		<p><b>効率性評価</b></p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)</p> <p>単純労務を臨時職員や外部に委託する。</p>
			<p><b>公平性評価</b></p> <p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当でない (受益者とその理由)</p> <p>制度上、受益者負担はない。</p>	

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <u>21</u></p> <p style="color: green; font-weight: bold; font-size: 2em;">↑ 具体化</p>	<p style="text-align: center;"><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>現在ある集落協定について、農業生産活動を継続するための体制づくり研修会などを通じて更に活発化させる。その活動内容を、他地域へ紹介し、集落協定への参加集落の拡大を図る。又、事業参加農業者を増やすための事業説明会を継続して実施する。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>協定に参加しなかった農業者への呼びかけを実施。また、協定書に記載された5年後の目標に対しての活動を実施できるよう実施状況の確認と学習会などを行う。</p>
---	--

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p><input type="checkbox"/> 必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	